

アルファテック448

アルファテック448は、新旧コンクリートの打ち継ぎ用のエポキシ接着剤です。フレッシュコンクリートに対して、高い接着性能を発揮します。また、吹き付け塗布の施工性にも優れているので、道路橋のコンクリート床板の補修、増厚補強のための打ち継ぎ接着、コンクリート構造物のかさ上げなど、フレッシュコンクリートの打ち継ぎ接着に最適です。



特許登録番号: 6238230号(二液混合型接着剤)

特長

- 打ち継ぎ強度は、コンクリートの破壊強度を超える接着性能をもっています。
- 超速硬コンクリートの強度発現に合わせた接着性能をもっています。
- 繰り返しの荷重や熱ショックに対して、優れた耐久性能を発揮します。
- 吹き付けによる塗布作業の施工性に優れています。
- ハツリ後の凹凸やカット面に、ダレのない塗膜を形成します。

用途

- 道路橋のコンクリート床板の補修や、増厚補強のための打ち継ぎ接着
- コンクリート構造物をかさ上げする際の、コンクリートの打ち継ぎ接着
- フレッシュコンクリート、セメントモルタル、無収縮セメントなどの打ち継ぎ接着

テクニカルデータ

未硬化物の性状 (23℃)		
	アルファテック448	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂環式ポリアミン
外観色	淡灰色	黒色
外観 (混合)	灰色	
混合比 (重量)	2	1
粘度	7000±2000mPa・s	
チキソトロピックインデックス	3.5±1.0	
比重	1.25±0.1	
可使時間 (3kg スケール)	25分	
指触乾燥時間	6時間	
打継可能時間	4時間 (対コンクリート)	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS A 6024	23°C × 7日	55
圧縮弾性率 (N/mm ²)	JIS K 7181	23°C × 7日	2000
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS K 7171	23°C × 7日	40
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7161	23°C × 7日	20
付着性 (N/mm ²) (コンクリート板)	JIS K 5600 (建研式)	23°C × 7日	2 CF
新旧コンクリートの 打継接着強度 (N/mm ²)	JIS A 1106	23°C × 7日	2 CF
接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS A 6024	23°C × 7日 (乾燥)	6 MF
		23°C × 7日 (湿潤)	5 MF
衝撃強さ (N·mm/mm ²)	JIS K 7111 (フラットワイス)	23°C × 7日	4
硬度 (ショアーD)	JIS K 7215	23°C × 7日	80

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

NEXCO 構造物施工管理要領表4-3-1 新旧コンクリートの付着耐久性の規格適合品 (試験法-434)			
試験項目	養生条件	物性値	規格値
負荷前の付着強度試験 (N/mm ²)	23°C × 3日	1.93	1.0
温水負荷試験	水温50°C、浸漬10日	変状無し	変状が無いこと
温水負荷後の 付着強度 (N/mm ²)	水温50°C、浸漬10日	2.28	1.0
引張疲労試験	振幅0.6N/mm ² 、周波数10Hz、 試験回数480万回	破断無し	破断しないこと
疲労試験後の付着強度 (N/mm ²)	振幅0.6N/mm ² 、周波数10Hz、 試験回数480万回	1.82	1.0
上面増厚コンクリートの 圧縮強度試験 (N/mm ²)	23°C × 3時間	25.3	24.0
	23°C × 7日	51.2	—

※社団法人 日本建設機械化協会にて試験

使用方法

- ①下地処理: コンクリートの脆弱部をハツリやウォータージェットで除去し清掃して下さい。
◇コンクリートにひび割れや浮き骨材がある場合はアルファテック448LV浸透性エポキシプライマーを塗布して下さい。
使用方法は、アルファテック448LVのカタログを参照して下さい。
- ③樹脂混合: 主剤(淡灰色)2kgと硬化剤(黒色)1kgを容器に入れ、樹脂ミキサーで1分程度混合して下さい。
・推奨樹脂ミキサー: HIKOKI変速ドリル(D10VH12/0~2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)。混合は500~1000rpmで使用して下さい。
◇樹脂の混合は温度が高いと短く、温度が低いと長くなります。
- ④接着剤塗布: スクイズポンプによる吹き付け または 刷毛塗りで0.7kg/m²(平坦面)~1kg/m²(ハツリ面)を目安に塗布して下さい。
◇吹き付け方法は、アルファテック448吹き付け要領書を参照して下さい。
◇小面積の施工にはアルファテック448カートリッジによる吹き付けを推奨します。
◇アルファテック448は温度が低いと粘性が上がり、高いと硬化が早くなります。
- ⑤コンクリート打設: アルファテック448塗布後、30分~3時間程度のタック(ベタ付き)のある間にコンクリートを打設して下さい。
◇コンクリートの打継可能時間は、温度が高いと短く、低いと長くなります。
◇可使時間を経過しタックが無い場合は、再度アルファテック448を初回の50%程度塗布して下さい。

容器形態

【10kg / 8L セット】	【3kg / 2.4L セット】	
主 剤 6.7kg (角缶)	主 剤 2kg (アルミパック: 1kg × 2パック)	
硬化剤 3.3kg (角缶)	硬化剤 1kg (アルミパック)	

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願ひ致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行なって下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹸水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
6-3-3 ASHIMARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN